

# すいさん山形

No. **329**

平成28年 / **7** 月号

山形県漁業協同組合  
広報誌

漁民と手をつなぐ広報誌



山形県持続的漁業経営支援事業

## 第1号船 千修丸 進水式



# 第51回 通常総代会開催

第51回通常総代会は、6月21日(火)午前10時00分より本所講堂において、総代98名(内10名が委任出席)の出席と多数の来賓の方々また、各関係機関代表者のご臨席のもとに開催されました。

冒頭、五十嵐組合長が挨拶を行い、続いて来賓として吉村美栄子山形県知事(齋藤稔 山形県庄内総合支庁長代読)、丸山至酒田市長、時田博機遊佐町長、山口祐治農林中央金庫山形支店長がそれぞれ祝辞を述べられました。

次に、豊浦地区の志田正氏が議長に選出され、第1号議案の平成27年度事業報告及び損失処理案の承認に関する件、第2号議案の平成28年度事業計画の設定に関する件、第3号議案の平成28年度における借入金の最高限度に関する件から第6号議案の平成28年度における役員報酬の支給に関する件まで、6議案が審議され、いずれも可決承認されました。



## 平成27年度の事業概況

平成27年度の国内経済は、民間投資を喚起する成長戦略を柱とする政策的効果により比較的堅調な雇用・所得情勢にもかかわらず、中国を始めとする新興国経済の景気減速の影響等から、個人消費の弱含みが続いています。また、国内漁業情勢は、水産物消費の低迷、漁業就業者の減少と高齢化等、依然として厳しい状況が続いています。2015年10月5日には、TPP交渉が大筋合意に至り、その影響を乗り越える強い水産業づくりに向け、「浜の活力再生プラン」に基づく漁業構造改革への積極的な取り組みが求められたところで

さて、平成27年度の本県漁業の状況については、定置網漁の好漁と中型いかつり漁船の入港増等により総水揚げ金額は7年ぶりの30億円台となりましたが、沿岸漁業は総じて低調に推移し、手放しでは喜べない状況ではなかったかと考えます。こうした中で漁協経営収支については、水揚げが計画額を大きく上回り販売事業が増益になった反面、他の経済事業が水揚げ高に比例せず厳しい結果となり、事業総利益は前年比3百万円の減、計画比でも4百万円の減の4億48百万円の実績となりました。

- ### ① 信用事業
- JFマリンバンク中期事業推進方策に基づき、「系統利用率向上等による貯金量の確保」、「家計メイン口座化推進に向けた利便性の向上」、「指導金融機能の強化」のための具体的な活動を展開しました。
- 貯金業務については、「全国統一キャンペーン」等の運動を展開しながら、個人貯金残高の維持・確保を図りましたが、最終的に年度末残高は50億29百万円(平均残高は50億24百万円)の実績となりました。
- 一方、貸出業務については、制度資金の償還期限の延長等の条件緩和により漁業近代化資金の需要が増加し、貸出金残高は7億11百万円の実績となり、貯貸率は14・1%となり前年比2・7%上昇しました。
- その結果、信用事業総利益は33百万円となり、前年比ほぼ同額でしたが、計画比では4百万円の減少となりました。
- ### ② 共済事業
- 「浜の未来へ大きな架け橋 新3カ年」の2年度目として、その活動基本方針でもある①「安心」と②「納得」のいく保障提供②万全な共済事業実施体制の確立③活力ある漁村・地域づくりのための支援を柱として事業を展開しました。
- その結果、長期共済新規契約高は「チョコー」が13億10百万円(計画比100・8%)、「くらし」が1億8百万円(計画比81・8%)となりました。
- 依然として総体的には保有率が減少していること、さらには長期共済について計画達成が年度末に偏ったこと等が影響し、共済事業総利益は12百万円となり、前年比91・9%の実績率、計画比84・7%の達成率となりました。
- ### ③ 購買事業
- 本年度の原油市場(WTI)の動静については、世界の需給バランスが2014年以降供給過剰が続いており、一時37・75ドルの安値を付けま

● メインバンクはJFマリンバンクを！

した。

しかしながら、年度後半に入り生産コスト割れたシエールオイル中小石油企業が撤退を始めていること等により、WTIはやや値を戻しています。さて、当組合の主要取扱品目であるA重油の供給数量は、酒田北港工事船への供給が大幅に減少しましたが、中型いか釣船の入港隻数増と新規員外への供給が増加し前年比101・7%の実績となりました。灯油については、暖冬の影響により前年比93・2%の実績にとどまりました。この結果、石油類全体での供給数量は、前年比ほぼ同水準の実績となりました。

魚箱類については、生いか漁が不振となり9・1万箱減少したことが主因となり、魚箱類全体では前年比90・1%の実績にとどまりました。

また、一般資材類については、漁網網類の一括購入、購買キャンペーンの実施や、制度資金条件緩和による設備投資事業の購買扱い等により取扱高は大幅に増加し、前年比226%の実績となりました。以上により、購買事業総利益は1億83百万円となり、前年比・計画比ともに100・3%の実績となりました。

### ④ 販売事業

本年度の販売事業は、総水揚金額30億4百万円となり、2億92百万円増、計画比では4億54百万円増の実績となりました。これは、定置網漁業が秋さけ漁の豊漁により前年比1億15百万円増(160%)、船凍いか釣漁業が漁期後半にかけて日本海側に漁場が形成されたこと入港隻数が増加し、前年比2億32百万円増(153%)等が大きく影響し、7年ぶりの30億円台の水揚げとなったものです。

一方、期待された小型いか釣漁業は、盛漁期に漁獲量が薄く、前年比8万ケース減の2億34百万円(79%)にとどまり、他の経済事業にも影響を及ぼすこととなりました。

また、底曳網漁業については、漁場環境の変化からか低調に推移し、水揚金額は前年比ほぼ同水準の9億8百万円となりました。その他漁業で

は、はえなわ漁業が前年比11百万円増(105%)の2億36百万円、採介藻漁業が前年比21百万円増(110%)の2億37百万円となりました。

以上により、平成27年度の販売事業総利益は1億41百万円となり、前年比16百万円増、計画比8百万円増の実績となりました。

### ⑤ 製氷冷凍冷蔵事業

工場生産の合理化に努めるとともに、組合員に対する安定供給を優先し事業を展開しました。期待された小型いか釣漁業への氷供給は大幅に減少し、前年比51%の供給数量となりました。また、地元漁業への氷供給も伸び悩みました。この結果、供給数量で前年比89・5%の4万8千本、供給高では前年比88・7%の86百万円となりました。

また、各施設の計画的な保守管理を実施したことによる修繕費の減少や、経費の減少により、最終的に製氷冷凍冷蔵事業総利益は35百万円となり、前年対比88・0%の実績率、計画比87・2%の達成率となりました。

### ⑥ 加工事業

近年続く国産スルメイカの減産に起因するイカ原料の全般的な価格高、また、加工製品の売上の主軸である学校給食関係では、原料であるホッケ・マスの漁獲量が激減していることから、加工製造業向け原料販売についても、価格高が影響し販売が不調で推移し著しく落ち込みました。

反面、土産店向け商品が堅調に推移し、特に「ふるさと納税商品」が好調でありました。

加工事業総利益は前年比15百万円減(37・8%)の9・312千円にとどまりました。

### ⑦ その他の取組み

トリアル事業としての「県漁協直営庄内海丸」を、平成28年3月12日にオープンし、山形市民から高い評価をいただいております。店内での販売内容は、鮮魚(熟成魚の刺身等)・加工品(店内製造干物・加工場製造惣菜)・「浜のかあちゃん製造」の惣菜委託販売の3本柱で構成されており、

いずれも予想以上の売れ行きで推移しています。

### ⑦ 指導事業

資源回復計画推進事業を継続して展開し、小型魚の保護及び資源回復並びに各種種苗の中間育成及び稚魚・稚貝の放流を実施し、資源の培養と繁殖保護に努めました。

また、青壮年部連絡協議会、女性部、漁業士会、沿岸青年漁友会の事業活動を積極的に支援し、漁村の活性化と漁業者組織の育成強化に努めました。「浜の活力再生プラン」を策定し、省燃油活動の導入などが始まりました。また、TPP対策関連予算を盛り込んだ平成27年度補正予算では、水産業競争力強化型機器等導入対策事業が成立し、地域別説明会や漁業団体別の説明会の開催に努めました。平成28年1月に発生した酒田北港沖の貨物船CITY号座礁沈没事故に関しては、県、海上保安部、船主と連絡を取り対応に当たりました。

新規漁業者育成事業関係では、国による長期研修(雇用型研修)で3名を受け入れ、その後2名が就業し1名は研修を継続中です。また、就業準備研修事業においては、国・県の事業により6名の研修生を受け入れ、3名の就業が決定しています。

### 臨時総会開催

第51事業年度通常総代会終了後に臨時総会が開催されました。

臨時総会では、五十嵐組合長が挨拶を行った後、議長には総代会に引き続き豊浦地区の志田 正氏を選任し、総代の各地区定数の変更について審議され、原案通り可決承認されました。



● 公共料金の口座振替は漁協で！

# 平成27年度 水揚表彰

## 平成27年度 山形県漁協水揚優秀船表彰

漁業種類	船名	船主名	所属支所等	
船凍県内中型船	50t以上	第38正徳丸	佐藤長悦郎 豊浦支所	
船凍県外中型船	50t以上	第85若潮丸	石垣漁業(株) 根室漁協	
底曳網 ほか	15~20t	第28廣徳丸	池田亀五郎 さかた総合市場	
		第58海瑞丸	本間 昭志 豊浦支所	
	10~15t	羽前丸	五十嵐容子 念珠関総括支所	
		萬龍丸	飛塚 美和 念珠関総括支所	
		第2漁吉丸	阿部 清浩 さかた総合市場	
	5~10t	第2千祥丸	佐藤 栄一 由良総括支所	
		第31要福丸	澤口 勉 吹浦支所	
		福傳丸	阿部 昌樹 さかた総合市場	
	はえ縄・ 一本釣 刺網ほか	3t以上	剛雄丸	鈴木 剛太 温海出張所
			海成丸	本間 金弥 念珠関総括支所
1~3t		第8長寿丸	鈴木 重作 豊浦支所	
		龍鵬丸	剣持 浩 念珠関総括支所	
		千修丸	本間 和憲 温海出張所	
		大進丸	栗田 義和 念珠関総括支所	
定置網		第11仁豊丸	(有)仁三郎 豊浦支所	
採介藻 ほか	1t未満	幸進丸	榊原 英樹 由良総括支所	
		白山丸	榊原 昭夫 由良総括支所	
		あい丸	佐藤 義男 由良総括支所	
鮮いか県内船	10~20t	第21清栄丸	大場清一郎 由良総括支所	

## 平成27年度 水揚優秀船漁撈長表彰

表彰基準	表彰者名	船名
県内船	佐藤長悦郎	第38正徳丸
	齋藤 梅三	第81白山丸
県外船	本間 健	第85若潮丸

## 平成27年度 酒田市水揚優秀船表彰

区分	漁業種類	船名	船主名	所属支所等
県内	船凍いか釣	30t以上	第81白山丸	(有)白山丸水産 さかた総合市場
		5t以上	第2漁吉丸	阿部 清浩 さかた総合市場
	底曳網	5t未満	福傳丸	阿部 昌樹 さかた総合市場
		5~30t	第18睦丸	池田 敏行 さかた総合市場
		5t未満	勝栄丸	讃岐 守 飛鳥支所
	いか釣	5t未満	第3永徳丸	渡部 重春 飛鳥支所
			宝洋丸	進藤 十二 さかた総合市場
	地先	3~5t	金毘羅丸	讃岐 利行 飛鳥支所
			第5多喜丸	渡部 伸二 さかた総合市場
		3t未満	第3七宝丸	池田 富生 飛鳥支所
磯見		寿和丸	渡部 和夫 飛鳥支所	

## 平成27年度 鶴岡市水揚優秀船表彰

漁業種類	船名	船主名	所属支所等
沖合	50t以上	第38正徳丸	佐藤長悦郎 豊浦支所
底曳網	10t以上	第58海瑞丸	本間 昭志 豊浦支所
		羽前丸	五十嵐容子 念珠関総括支所
		萬龍丸	飛塚 美和 念珠関総括支所
	5~10t	第2千祥丸	佐藤 栄一 由良総括支所
		清徳丸	佐藤 清紀 念珠関総括支所
	5t未満	弥恵丸	佐藤 正美 温海出張所
		伝栄丸	齋藤 和男 加茂出張所
沿岸	3t以上	剛雄丸	鈴木 剛太 温海出張所
		海成丸	本間 金弥 念珠関総括支所
	3t未満	第8長寿丸	鈴木 重作 豊浦支所
定置網		龍鵬丸	剣持 浩 念珠関総括支所
		第11仁豊丸	(有)仁三郎 豊浦支所
磯見	1t未満	幸進丸	榊原 英樹 由良総括支所
		白山丸	榊原 昭夫 由良総括支所
		あい丸	佐藤 義男 由良総括支所
いか市内船	10~20t	第21清栄丸	大場清一郎 由良総括支所

## 理事会情報

平成28年度 第2回 理事会議案  
開催日…平成28年5月31日(火)  
場所…本所 第一会議室

### 【協議事項】

- 平成27年度期末監事監査の報告について
- 平成27年度貸借対照表・損益計算書及び注記表並びに業務報告書について
- 第51事業年度通常総代会の提出議案について
- 平成28年度事業計画(案)について
- 平成28年度臨時総会について
- 理事の利益相反行為に該当する貸付金の審議について
- 平成28年度資金運用計画(案)について
- 平成28年度栽培漁業地域展開促進事業実施計画(案)について
- 平成27年度全漁連期末監査の改善指示書について
- 第24回参議院議員選挙の推薦について
- 2016年度熊本地震JFグループ支援資金及び庄内浜の魚消費拡大総合プロジェクト推進本部負担金の納入について

### 【報告事項】

- 平成27年度固定資産減損損失の兆候について
- 平成27年度自己資本比率の状況について
- 石油製品の価格改定について
- 貸付金利率の改定について
- 組合員の加入・脱退及び減資について
- その他について

● 年金のお受取りは漁協で！

# 全国広域漁船保険組合 山形県支所

水産関係団体

平成27年度

事業の概要

平成27年度漁船保険事業概要は、普通保険（普通損害保険および満期保険）の引受では、加入隻数が667隻（前年同期比97.4%）で18隻減少したものの、保険金額は48億円（同101.2%）と6千万円の増額となりました。純保険料は、7,359万円（同103.2%）で、231万円の増加となりました。

普通保険事故の件数では、6件減少の110件（同94.8%）となり、支払保険金においても3,089万円（同79.0%）と減少しました。損害率（支払保険金÷純保険料×100）は、42.0%でした。

その他については下表のとおりです。

表1 普通保険地区別加入実績及び支払実績

支所名	在籍漁船	加入漁船	保険金額	純保険料	事故件数	支払保険金	損害率	事故率
念珠関	169隻	149隻	831,080円	14,231,127円	17件	4,039,739円	28.4%	11.4%
温海	55	53	159,350	2,834,867	7	1,353,669	47.8	13.2
豊浦	83	78	431,900	7,912,498	11	4,563,600	57.7	14.1
由良	74	67	349,210	7,201,642	17	4,797,738	66.6	25.4
加茂	66	52	167,610	3,458,915	3	1,582,310	45.7	5.8
さかた総合	118	112	1,015,570	22,289,255	38	11,319,984	50.8	33.9
吹浦	56	46	154,590	3,088,062	3	302,202	9.8	6.5
飛鳥	132	107	424,400	8,863,242	14	2,940,398	33.2	13.1
その他	5	3	1,273,000	3,710,600	0	0	0.0	0.0
合計	758	667	4,806,710	73,590,208	110	30,899,640	42.0%	16.5%
前年同期	790	685	4,749,490	71,289,317	116	39,094,549	54.8%	16.9%
前年同期比(%)	95.9%	97.4%	101.2%	103.2%	94.8%	79.0%	76.6%	97.6%

\* 在籍漁船には山形県漁業協同組合所有船「第5ちとせ丸」を含む

表2 漁船船主責任保険等加入実績と保険金支払状況

種類	本年度契約金額		支払保険金		種類	本年度契約金額		支払保険金		
	隻数	金額(千円)	件数	金額(円)		隻数	金額(千円)	件数	金額(円)	
漁船船主責任保険	基本損害	656	309,000,000	2	150,730	漁船乗組船主保険	478	398,500	0	0
	乗客損害	89	34,280,000	0	0	漁船積荷保険	4	180,000	0	0
	人命損害	73	224,500	0	0	プレジャーボート責任保険	116	14,710,000	4	1,281,873

## 平成27年度 無事故漁船所有者等表彰

### 水産庁長官表彰

念珠関総括支所 大洋丸 佐藤太助

### 漁船保険中央会会長表彰

念珠関総括支所 大進丸 栗田義和

豊浦支所 第二十八長寿丸 鈴木重作

さかた総合市場 漁吉丸 阿部清浩

飛鳥支所 第二十八宝運丸 進藤優一



● メインバンクはJFマリンバンクを！

# 全国合同漁業共済組合 山形県事務所

本県の平成27年度の水揚高は30億4百万円となり、前年度対比で2億9千2百万円の増額となりました。10月以降の県内・県外船凍いか釣漁業、並びに定置網漁業の水揚げ増加が主な要因ですが反面、県内における漁船漁業全般においては総じて水揚高は減少傾向にあり、特にいか一本釣漁業、刺網漁業及びごち網漁業は水揚減少となりました。また、恒常的な問題となっている漁業者の高齢化、魚価安と燃油価格の高止まり状況、更にはTPP交渉合意問題も相まって漁業経営を一段と厳しくしております。

このような漁業環境にあつて、本年が2年目となる普及推進全国運動「しっかりと加入で安心経営」、「これからも「ぎよさい」と「ぶらす」をスローガンに、併せて「資源管理・収入安定対策事業」を説明しながら未加入船を中心に推進運動を展開しました。

その結果、鶴岡市、酒田市、遊佐町の小型合併漁船6隻の新規加入と、漁獲共済で7隻の契約割合引き上げがありました。前年度同期比での漁獲共済の加入件数は245件と1件減少となりましたが、共済金額においては若干の増額を見ることが出来ました。

長期にわたる漁業環境、経営環境の悪化が「ぎよさいと積立ぶらす」にその役割と期待が背景にあつたものと思われれます。

ここにあらためまして、漁業者各位のご理解とご協力に感謝を申し上げます。

## 平成28年度 漁業共済優績者表彰



- ☆水産庁長官賞（7年間無事故者）  
第28宝運丸
- 進藤 優一殿（飛鳥）
- ☆漁業連会長賞（5年間無事故者）  
廣 栄 丸
- 栄田 修一殿（吹浦）
- 第8長宝丸
- 佐藤 昭殿（由良）
- 欽 幸 丸
- 佐藤 欽也殿（由良）
- 千 修 丸
- 本間 和憲殿（温海）
- 邦 栄 丸
- 富樫 邦男殿（念珠関）
- 龍 鵬 丸
- 剣持 浩殿（念珠関）

ぎよさい加入で  
安心経営



つなぐちゃん

### 全国漁業共済組合連合会及び 全国合同漁業共済組合役員と 運営委員について

6月23日開催の全国合同漁業共済組合第11回通常総代会、同24日開催の全国漁業共済組合連合会第83回通常総代会において、役員改選が行われました。

- 〈任期〉  
平成31年通常総会・総代会終了時まで  
全国漁業共済組合連合会  
監 事 五十嵐 安 哉（新任）  
全国合同漁業共済組合  
理 事 五十嵐 安 哉（重任）

### 全国合同漁業共済組合 山形県漁業共済事業運営委員

- 〈任期〉  
平成31年6月通常総代会終了時まで  
運営委員長 五十嵐 安 哉（重任）（所長）  
運営委員 本間 昭 志（重任）  
運営委員 佐藤 峯 男（重任）  
運営委員 伊 原 光 臣（重任）  
運営委員 池 田 亀 五 郎（重任）  
運営委員 佐 藤 清 八 郎（重任）  
運営委員 斎 藤 厚（重任）

● 公共料金の口座振替は漁協で！

# JF共水連東北事業本部 山形支店

☆JF共済 平成27年度加入状況 (単位：件、万円)

共済種類	実績		保有			
	件数	共済金額	件数	共済金額		
長期共済	チョコー	新規	159	136,410	1,332	818,150
		純新規		100,210	—	—
	くらし		21	19,250	250	264,250
	年金	新規	4	18	515	2,603
増額		12	33			
短期	ノリコー		343	127,900	—	—
	カサイ		443	662,829	—	—

☆平成27年度共済金支払状況

普通厚生共済 (チョコー)	
満期・給付金	138件 24,060万円
死亡	7 2,114
入院・通院他	120 1,141
計	265 27,315

生活総合共済 (くらし)		
満期	26件	1,949万円
事故	9	204
計	35	2,153

漁業者老齢福祉共済 (ねんきん)		
年金	250件	4,981万円
死亡	0	0
計	250	4,981

乗組員厚生共済 (ノリコー)		
満期	0件	0万円
事故	5	15
計	5	15

火災共済 (カサイ)	
4件	4,564万円

団体信用厚生共済 (ダンシン)	
0件	0万円


JF共済は平成二十七年「浜の未来へ大きな架け橋」JF共済三か年計画(平成二十六年～平成二十八年)の中間年度として、本県JF共済推進本部・JFやまがたと一体となって共済事業目標の確保に向けて取り組んで参りました。本県JF共済推進本部は、共済事業におけるコンプライアンス(法令遵守)

と普及推進並びに、実務研修実施等により体制強化に努め、「提案型推進の促進」「恒常・集中推進への支援」「担当者研修・広報活動の強化」など重要諸施策を積極的に実施致しました。このほか「浜の絆でがんばって東北!JF共済キャンペーン!」も行い、事業量目標の早期達成に向けたチョコーキャンペーンを展開致

しました。JF共済の基幹種目である生命共済「チョコー」は、純新規目標及び同額転換契約実績を含む新規保障目標とも達成することが出来ました。一方、建物共済「くらし」では前年度実績を上回ったものの、残念ながら目標達成には至りませんでした。最後になりますが、厳し

い漁業・事業環境のなか、共済加入等にご協力頂いた皆様に対し、深く感謝申し上げますと共に、組合員・地域住民の多様なニーズや信頼にお応え出来るよう、JFやまがたと一体となって「ふれあい型」推進に努めて参りますので、なお一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

～JF共済3か年計画～  
(平成26～28年度)



## 「浜の未来へ大きな架け橋」

我ら海の子 元気な共済

気がつけばいつも JF共済

がんばろう漁村 浜の応援団

● 年金のお受取りは漁協で!

# 山形県漁業信用基金協会

## (1) 会員と出資金

会員数は、前年度末より変動はなく、本年度末会員数は69名であります。

また、出資金についても前年度末より変動はなく、本年度末出資総額は667,300千円であります。

## (2) 保証業務

年間保証額は、42件251,270千円（うち漁協生活ローン17件15,400千円）となり、その結果、本年度末保証残高は152件488,434千円となりました。前年度末対比では、件数では19件、保証残高では133,152千円増加しております。

なお、資金種類別の保証状況は下表のとおりです。

## (3) 代位弁済と求償権

代位弁済事故防止に努めた結果、本年度は発生しませんでした。

一方、回収にあたっては、極めて厳しい情勢の中で積極的な回収努力と支払協力による回収で7,064千円（目途額7,307千円、達成率96%）の回収を図ることができました。その結果、本年度末求償権残高は、18名146件1,262,499千円となりました。

今後とも、債務者ならびに関係機関のご協力をいただきながら回収を図りたいと考えております。

## (4) 収支

収入については、金融市場を取り巻く環境は依然厳しい中、基金等の運用資金を有効活用し、運用益の確保に努めた結果、収益合計122,011千円となりました。

一方、支出については、費用合計14,434千円となり、当期利益107,577千円計上した結果、未処分剰余金処分後の次期繰越欠損金は186千円となりました。

今後も経営改善計画に沿って事業を展開し、経費削減を行い、関係機関と協議しながら、繰越欠損金解消に努めて参りたいと考えております。

## (5) 役員の異動

就任（平成28年6月21日）

理事 秋葉 弘毅 代表監事 渡邊 雅彦

退任（平成28年3月31日）

理事 白崎 好行 代表監事 佐藤 毅

<人事異動> 昇格（平成28年5月17日付）

佐藤 和彦 参事【総務課長】

（金額単位：千円）

区分	前年度末保証残高		保証額		償還額		代弁額		本年度保証残高	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
近代化資金	31	155,061	12	169,980	5	48,398	0	0	38	276,643
一般資金	金融公庫	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般緊急	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	借替緊急	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他一般資金	102	198,221	30	81,290	18	67,720	0	0	114
小計	102	198,221	30	81,290	18	67,720	0	0	114	211,791
計	133	353,282	42	251,270	23	116,118	0	0	152	488,434



## 「海の羽根」募金にご協力をお願いします。

山形県海と渚環境美化推進協会では、7月1日から7月31日まで、海的环境美化を目的とした「海の羽根」募金を実施します。募金場所は、市役所、町役場、県庄内総合支庁、県漁協などです。豊かな山形県の海を守るため、皆様からの御協力をよろしくお願いします。また、ボランティアで海の清掃活動などを行う団体（企業は対象外）に対して、助成を行っています。本年、9月に開催される「第36回全国豊かな海づくり大会」に向けて、海と渚のクリーンアップに取り組んでみませんか？

お問い合わせ先  
 県庄内総合支庁 水産振興課内  
 海と渚環境美化推進協会事務局  
**TEL 0234-24-6041**  
 （担当：今野・三浦）

●メインバンクはJFマリンバンクを！



# 水揚情報

平成28年6月30日現在

(単位：千円)

区分	支所別	水揚合計	水揚地内訳							
			吹浦	飛島	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関
5月末迄水揚累計		344,480	15,742	11,957	93,609	28,163	59,024	37,382	17,231	81,372
月間水揚	県内船水揚	178,585	13,219	13,856	38,889	12,805	29,052	21,679	4,951	44,134
	県外船水揚	83,813	0	0	80,579	0	1,720	0	0	1,514
	合計	<b>262,398</b>	<b>13,219</b>	<b>13,856</b>	<b>119,468</b>	<b>12,805</b>	<b>30,772</b>	<b>21,679</b>	<b>4,951</b>	<b>45,648</b>
前年同月水揚		264,976	12,266	13,515	102,779	12,542	39,293	26,205	8,544	49,832
本年度水揚	県内船水揚	482,337	28,961	25,813	95,583	40,968	88,011	59,061	22,182	121,758
	県外船水揚	124,541	0	0	117,494	0	1,785	0	0	5,262
	合計	<b>606,878</b>	<b>28,961</b>	<b>25,813</b>	<b>213,077</b>	<b>40,968</b>	<b>89,796</b>	<b>59,061</b>	<b>22,182</b>	<b>127,020</b>
前年度水揚累計		624,716	25,233	29,239	201,047	44,764	102,389	65,430	22,555	134,059
増	減	-17,838	3,728	-3,426	12,030	-3,796	-12,593	-6,369	-373	-7,039

## 今あがっている魚 - 6月のベストテン - 前年対比 増↗減↘変らず→

水揚金額 (千円)			魚獲量 (kg)		
1	するめいか	104,285 ↗		1	するめいか
2	たい	21,056 ↗	2	べにずわい	52,980 →
3	ほっこくあかえび	10,625 ↗	3	ぶり・いなだ	47,815 →
4	かき貝	8,276 ↘	4	たい	23,983 →
5	もずく	7,739 ↘	5	かき貝	19,212 →
6	口細	7,435 ↘	6	もずく	15,954 →
7	べにずわい	7,115 ↘	7	ほっこくあかえび	12,988 →
8	ひらめ	6,073 ↗	8	口細	9,316 →
9	つばい	5,374 ↗	9	ひらめ	8,784 →
10	あわび	5,324 →	10	まぐろ類	8,753 →



月間MVP



月間MVP

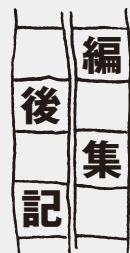
○「すいさん山形」は組合員皆様方と様々な情報や話題を共有し、愛される広報誌作りを心掛けております。今後もご意見・情報等ご提供くださいますようお願いいたします。

山形県漁業信用基金協会  
係長 芝田 秀樹

○今年も早いもので半年が過ぎました。七月は年初に立てた目標の進捗状況を見つめ直す良い機会なのではないでしょうか。既に目標を達成した人、目標半ばの人、さまざまだと思います。目標半ばの人は、過去の自分自身の行動を客観的に見て、修正が必要なのところは修正を行い、年末に良い一年だったと言えるよう、一日一日を大切に過ごしていきたいです。

○山形県船友漁撈長会の出航式(中型いか釣船団)が六月十一日、酒田港袖岡埠頭にて行われました。今年には海づくりに大会のプレ行事として例年より規模を拡大し盛大に開催されました。各船の航海の安全と大漁をご祈念申し上げます。

○第三十六回全国豊かな海づくり大会開催まで五十日を切り、本大会の成功に向けた準備が着々と進められているところでもあります。又、大会開催を契機とした本県水産業の振興を通じた地域活性化についても同時に検討がなされており、庄内浜の活性化に繋がるようその効果に期待しているところであります。



● 公共料金の口座振替は漁協で！

# 第36回 全国豊かな海づくり大会～やまがた～

## 100日前カウントダウンボード点灯式と 海を守る運動推進委員会からの寄附金の贈呈式

9月10日(土)～11日(日)に開催する、本県での全国豊かな海づくり大会の100日前に合わせ、いよいよ間近に迫った「全国豊かな海づくり大会」の開催について、広く県民に知っていただくとともに、更なる機運の盛り上がりを図るため、6月2日(木)にカウントダウンボード点灯式を県庁ロビーにおいて行いました。

豊かな森や川が豊かな海をつくること、大会開催を契機に、きれいで豊かな山形の海をこれからもみんなで守っていく大会にしたいと、知事からあいさつがありました。

知事、県漁協代表理事組合長、山形市内にある、さゆり幼稚園の園児がセレモニーに出席し、点灯ボタンを押すと、「大会まであと100日」と電光掲示されました。

点灯式に引き続き、知事室において、海を守る運動推進委員会からの寄附金の贈呈式が行われました。「海を守る運動推進委員会（委員長：全国漁業協同組合連合会会長）」では、「海を守る運動 自動販売機」



での募金活動を実施しており、自動販売機の売上げの一部を東日本大震災の復興支援及び全国豊かな海づくり大会の放流行事支援のため、毎年寄附を行っています。

「海を守る運動推進委員会」の依頼を受けた県漁協代表理事組合長から知事へ寄附金の目録が手渡され、知事より感謝の言葉が述べられました。



庄内総合支庁全国豊かな海づくり大会推進課 総務主査 鈴木まどか

## がんばってます！

今回の「がんばってます！」のコーナーは、毎年漁協が行っているヒラメ中間育成事業に欠かせない飼育員の方を紹介します。

今回紹介するのは、由良施設を担当頂いている佐藤 善元（さとう よしもと）さんです。佐藤さんは平成19年から由良施設を担当して頂いており、今年10年目になる大ベテランです。

ヒラメ中間育成は、例年7月に行い、飼育期間は約20日間。飼育員はその間毎日休みなく給餌や水槽回りの整備、死んでしまったヒラメをすくったり、記録を残すのが仕事です。また、飼育前後にもポンプ整備の立会い、水槽や資材の準備・清掃など、とにかく忙しく動いてもらっています。

そして、苦勞して中間育成されたヒラメは、旧鶴岡市・旧温海町に放流されます。毎年何事もなくヒラメを放流できるのは、飼育員さんの働きがあってこそです。ヒラメを水揚げした際は、飼育員さんの顔を思い出してくださいね☆



広報誌

すいさん山形

329/平成28年7月号

編集・発行／山形県漁業協同組合 酒田市船場町二丁目2番1号  
代表理事組合長 五十嵐 安哉

☎ 0234-24-5611 FAX 0234-22-6455  
<http://www.kengyokyo.or.jp/>